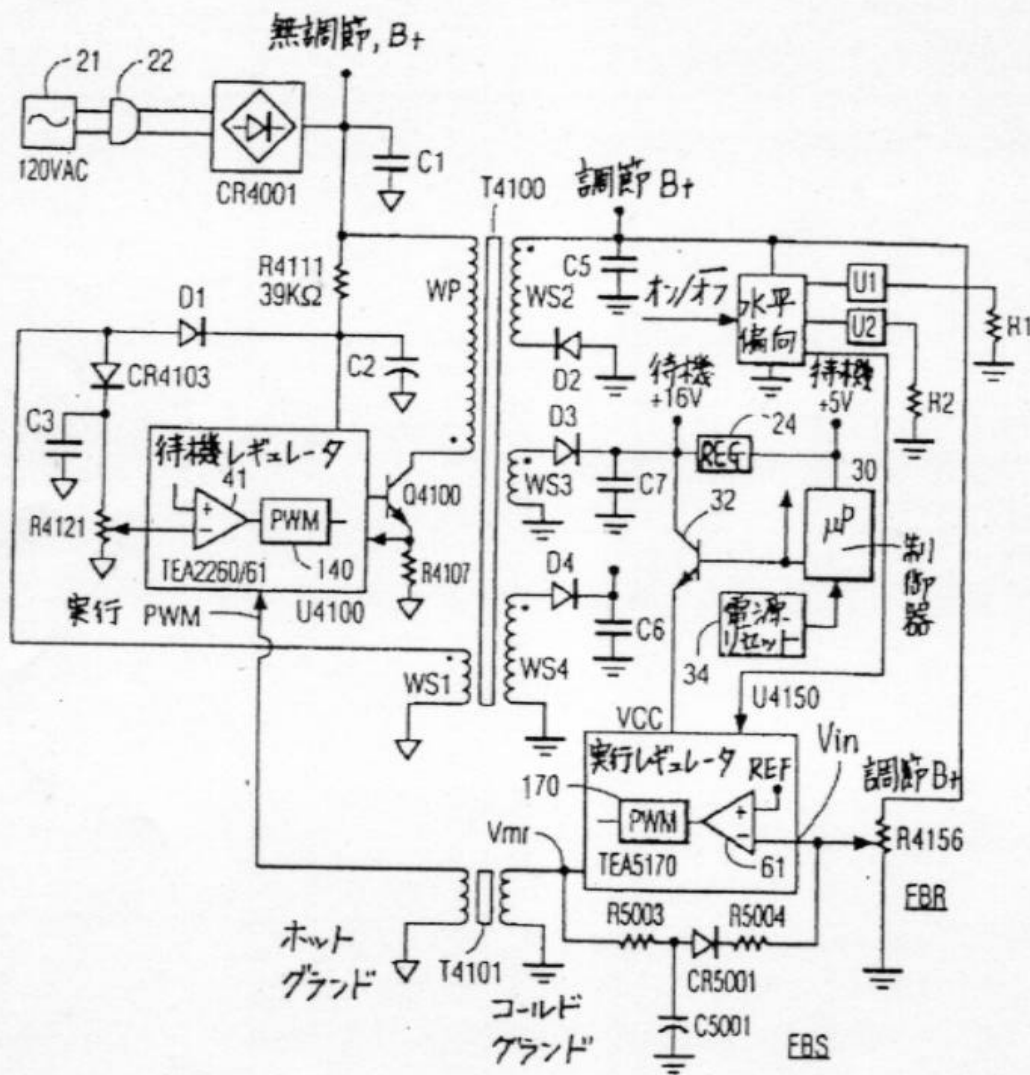
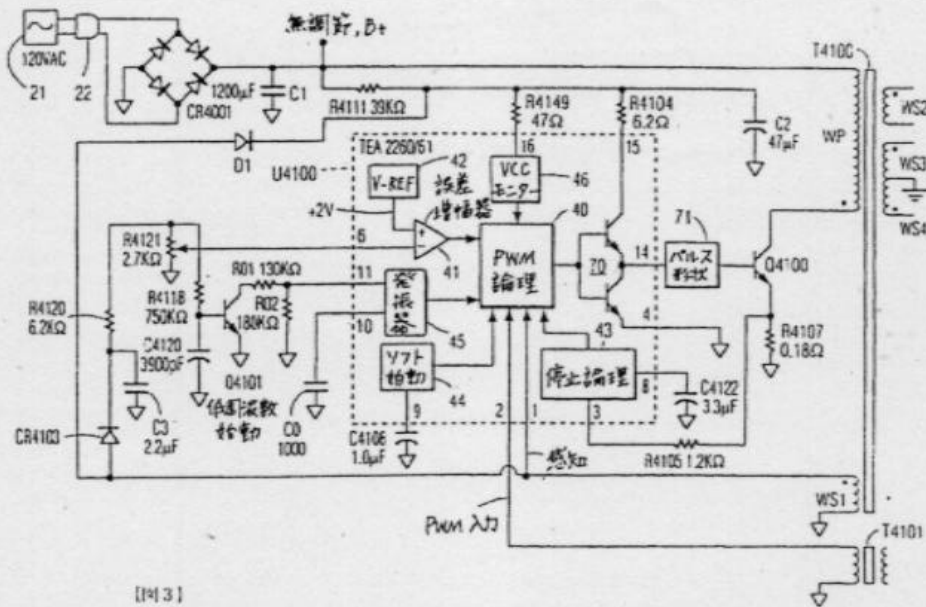


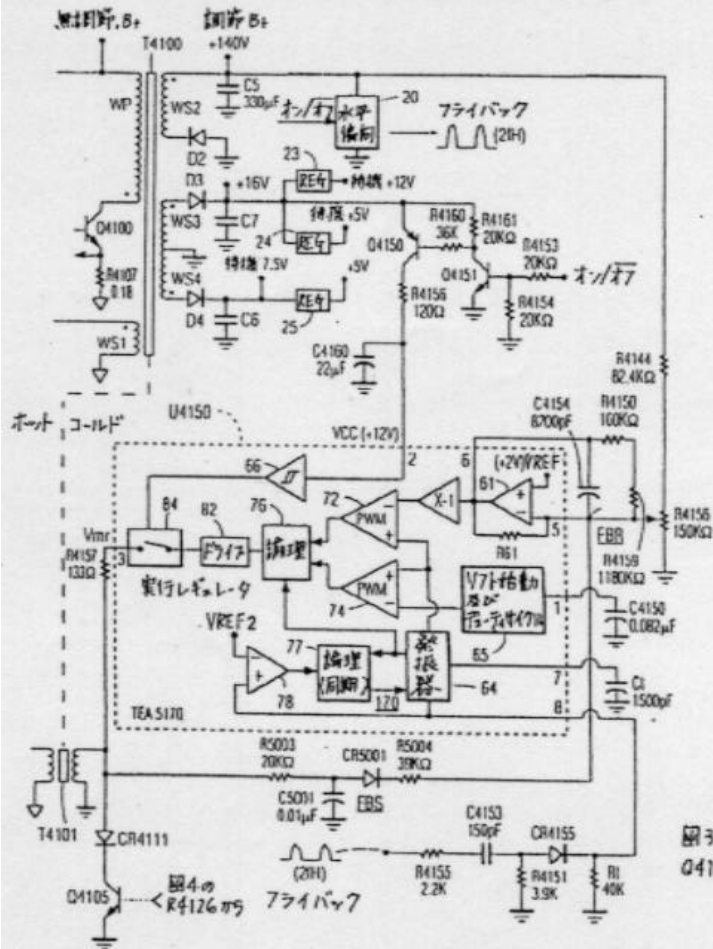
公開番号	P 7 - 7933	分類	電圧
出願人	トムソン コンシューマ エレクトロニクス インコーポレイテッド		
コメント	デューティサイクルが過大になった場合、それに起因するチョッパの過電圧印加状態を防止する保護回路です。		

〔図1〕

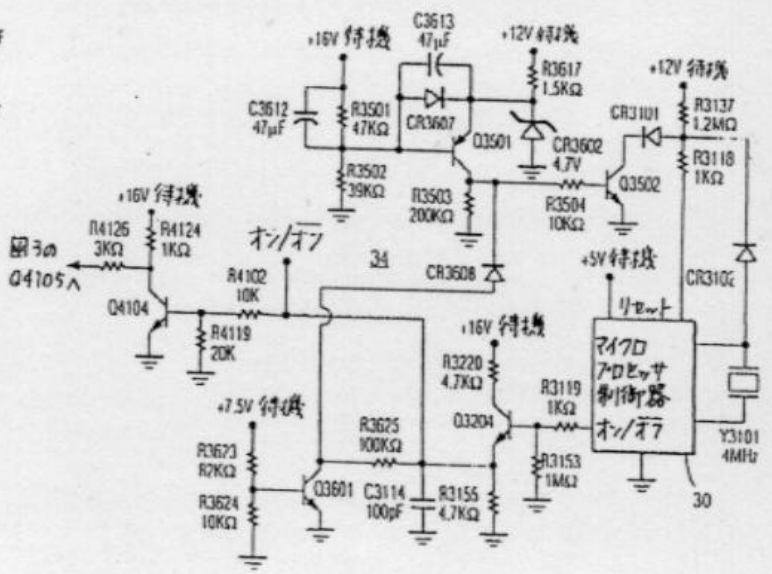




[Fig 3]

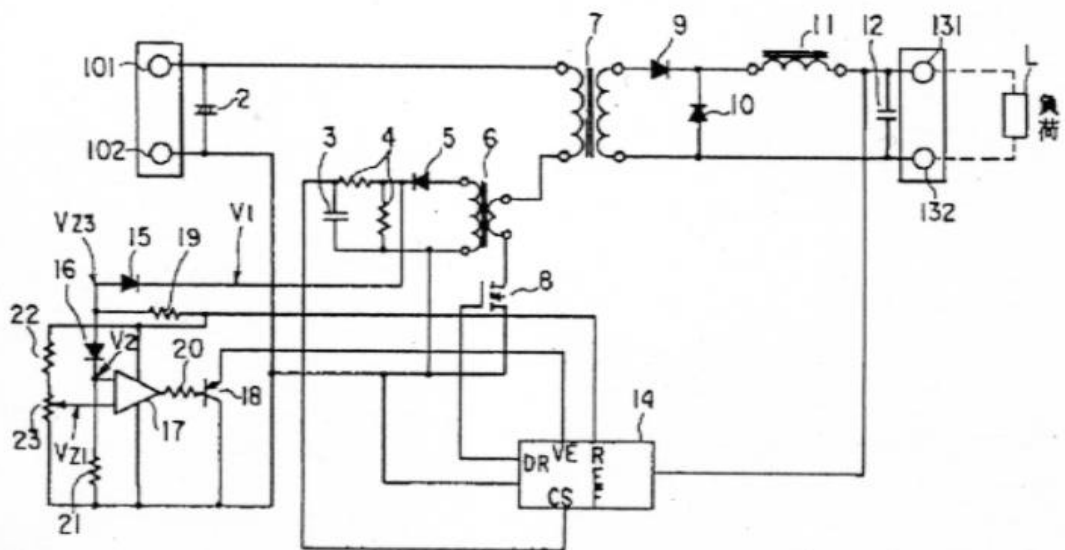


[Fig 4]

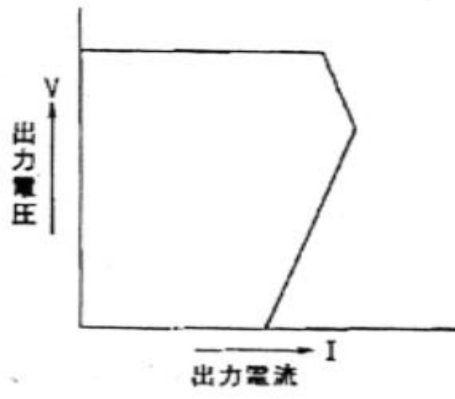


公開番号	P 7-203675	分類	電流
出願人	東立通信工業株式会社		
コメント	CT 変換器 6 でドレイン電流を検出し、フの字型の垂下特性を実現しています。過電流検出回路には、この例のように安全サイドへの動作が、これからは重要になります。		

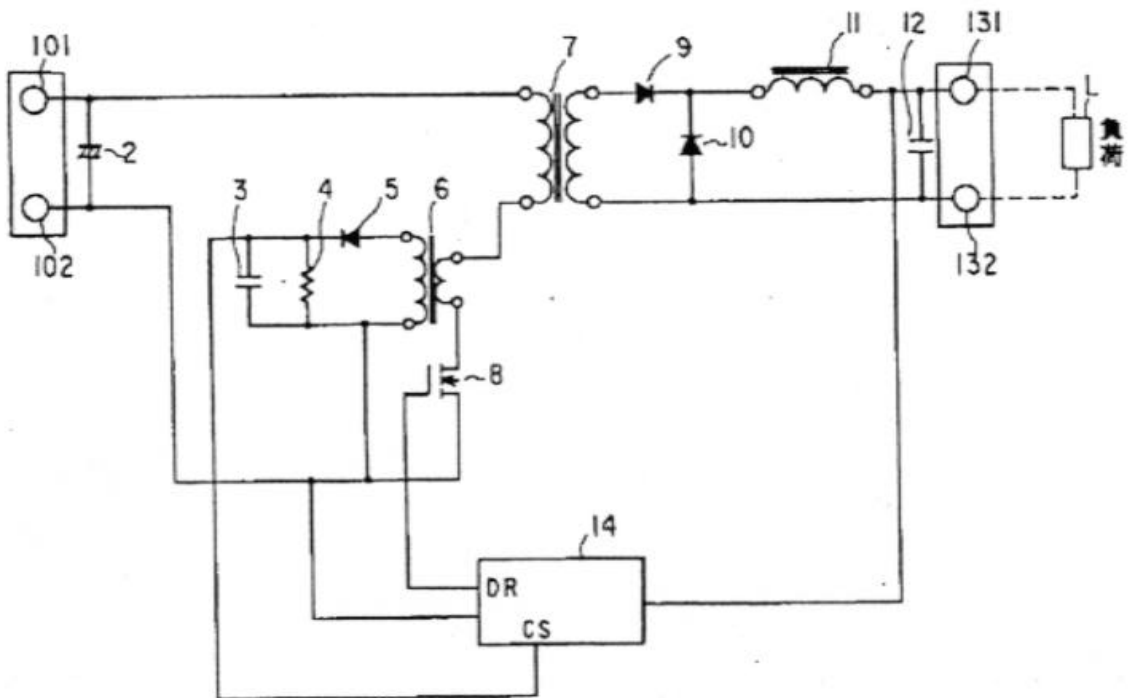
【図1】



【図2】

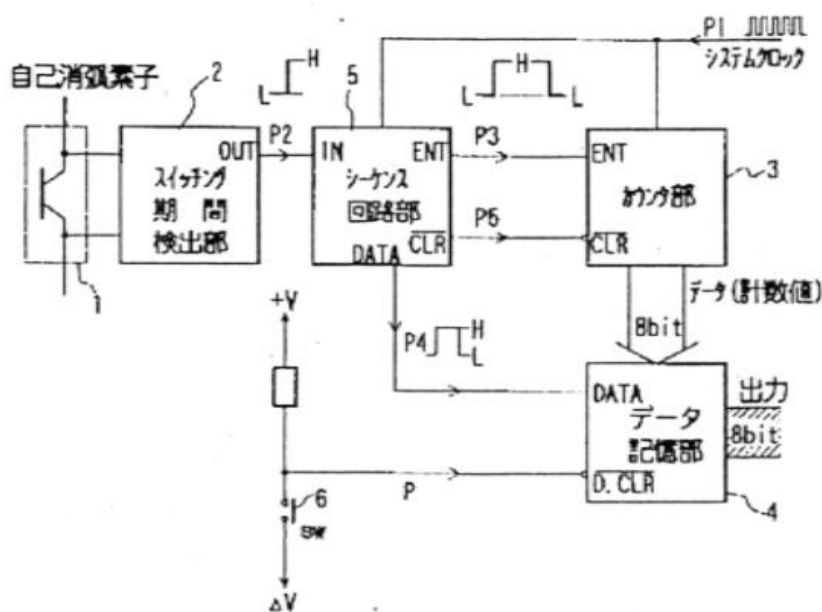


【図4】

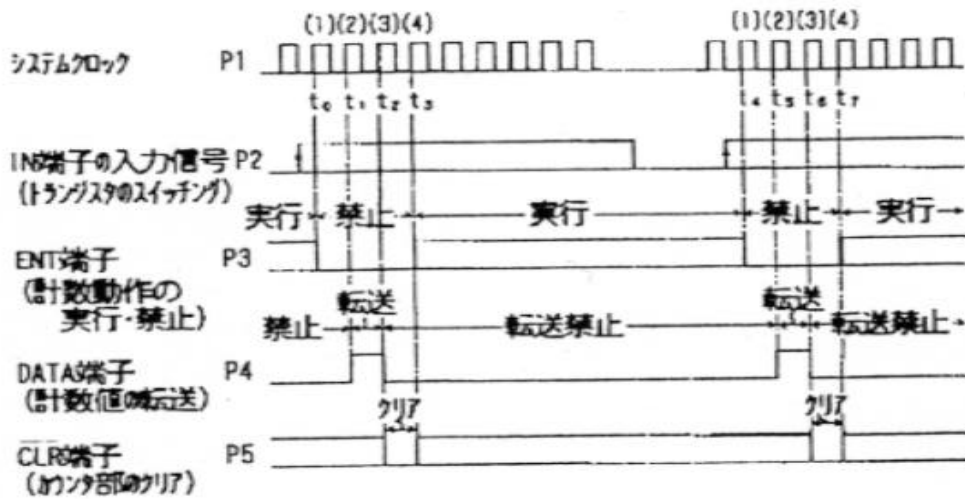


公開番号	P 7-209350	分類	周波数
出願人	株式会社明電舎		
コメント	<p>インバータのパワー tranzistors など、自己消弧素子を用いる場合には、主回路のノイズによってドライブ回路が誤動作することがあります。この周波数計測回路では、スイッチングの立ち上がりから次の立ち上がりまでのクロックパルスを数え、スイッチング周波数を計測します。スイッチングの異常を見逃すことがない計測回路の例として取り上げました。</p>		

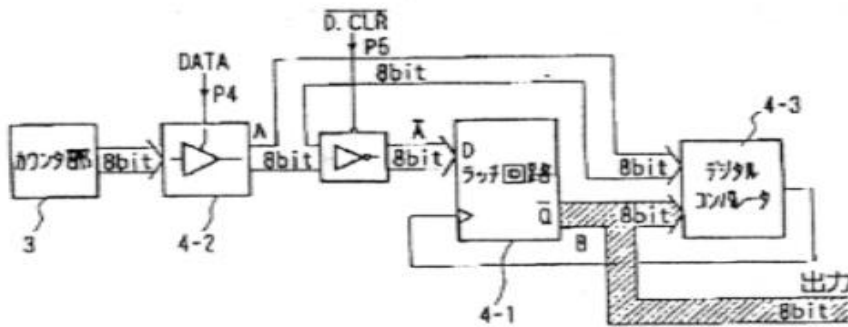
【図1】



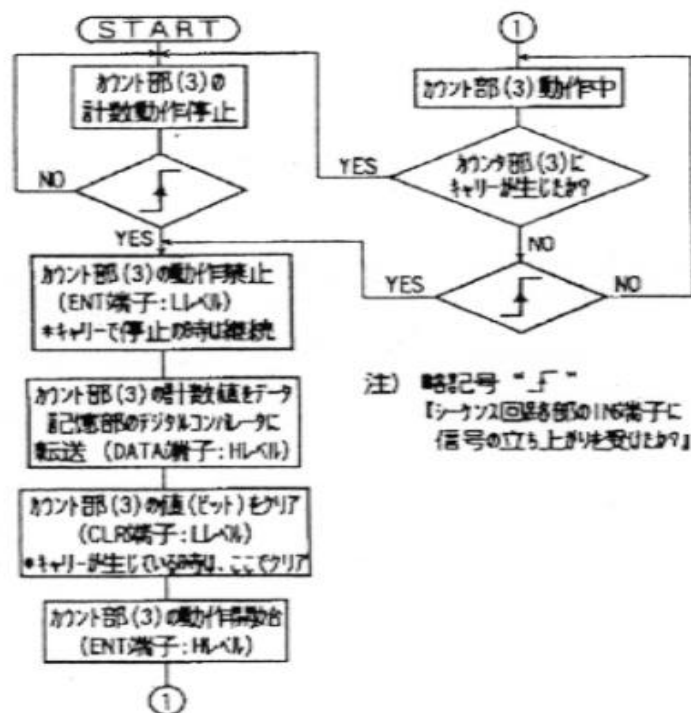
【図2】



【図3】



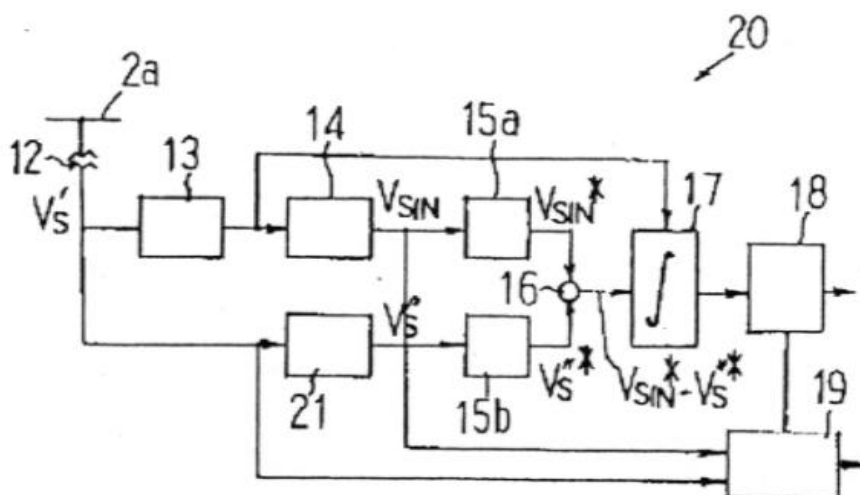
【図4】



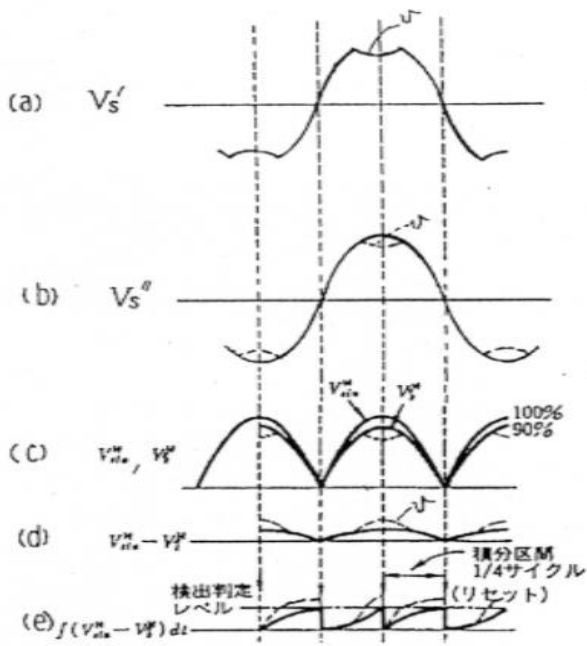
注) 略記号“フ”  
【シーケンス回路部のIN端子に信号の立ち上がりを受けとる】

公開番号	P 7-231581	分類	停電
出願人	日新電機株式会社		
コメント	<p>瞬停対策の回路です。電源電圧と同期基準電圧をそれぞれ全波整流し、両者の差電圧を1/4サイクル毎に積分し、積分値が検出判定レベルを越えたときは瞬停と判定し、インバータを動作させます。インバータは、交流電源の低下した電圧分を発生し、負荷に一定電圧を供給します。基準電圧と対比する電源電圧は、バンドパスフィルタにより高調波成分を除去して基本波成分のみの電源電圧波形に形成しています。高調波成分を有する電源系統においても、瞬停を精度良く検出できるようにしています。瞬停対策回路の誤作動がなくなり、PWM制御インバータのフィラ抵抗の焼損や、瞬停動作時にコンデンサの蓄積エネルギーがなくなって補償が不能になるといった問題を解消しようとする例です。</p>		

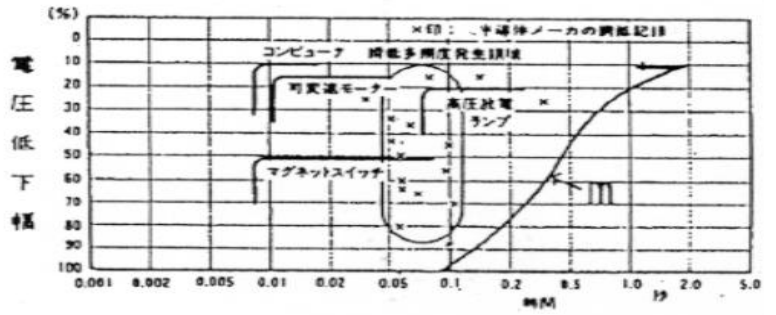
【図1】



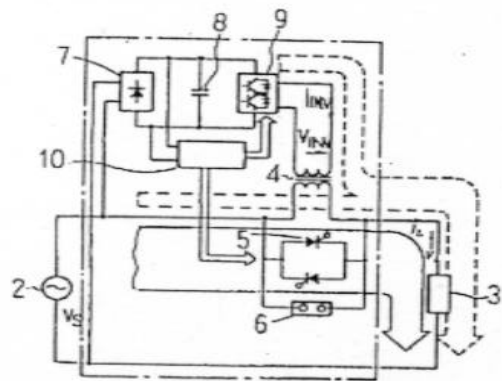
【図2】



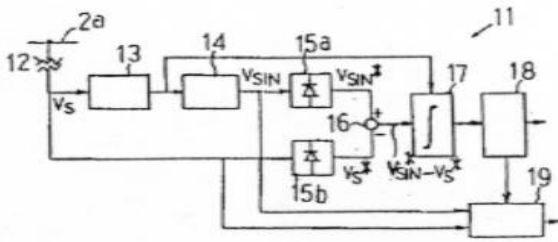
【図3】



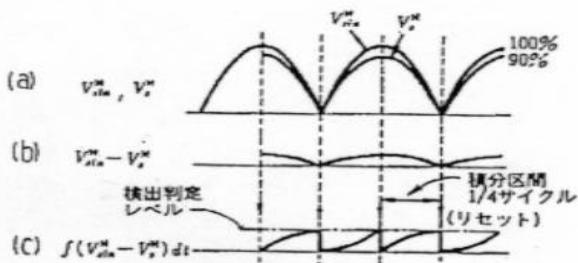
【図4】



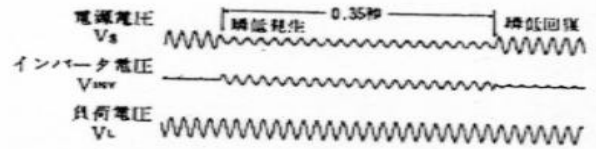
【図5】



【図6】



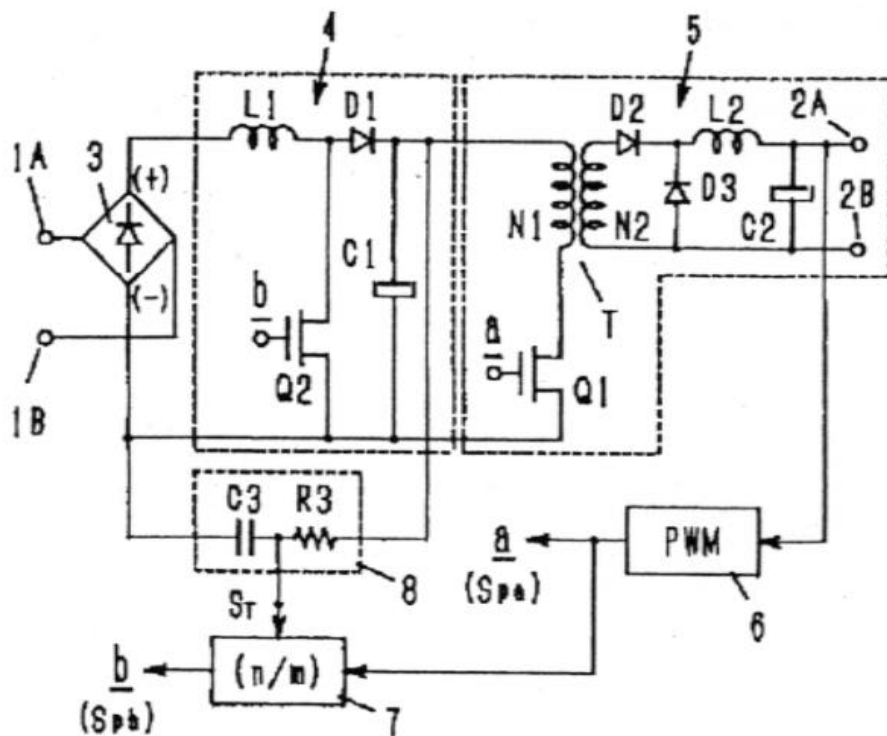
【図7】



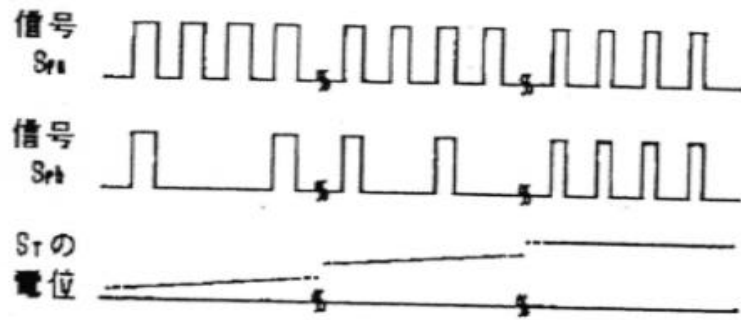


公開番号	P 7-264866	分類	発火 発煙
出願人	東光株式会社		
コメント	昇圧チョッパ回路による力率改善回路です。昇圧チョッパ回路のスイッチング素子の起動時における破壊を防止するものです。		

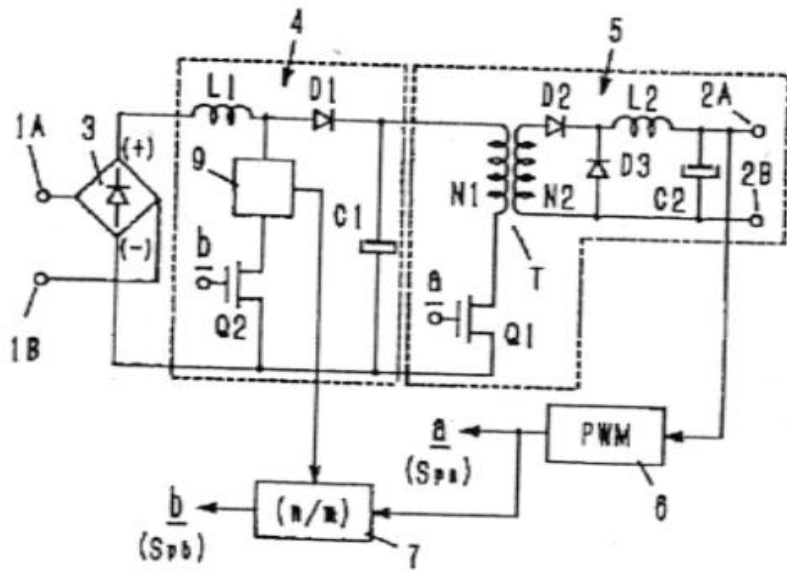
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

